

広報紙コンクールについて

去る令和2年4月9日（木）に理事15名が審査員となり、審査を行いました。応募総数は小学校の部17校、中学校の部10校の合計27点でした。その中から小学校7校、中学校5校の表彰を決定いたしました。

～広島県PTA連合会 小・中学校PTA広報紙コンクール 入賞校一覧～

優秀賞

小学校PTAの部



尾道市立栗原小学校PTA
「栗っこタイムズ」



尾道市立土堂小学校PTA
「尾道市立土堂小学校PTA会報誌 TI-PRESS」



尾道市立高須小学校PTA
「たかすっ子」



尾道市立日比崎小学校PTA
「ひびさき」



尾道市立美木原小学校PTA
「よつ葉」



福山市立綱引小学校PTA
「ひろば」

中学校PTAの部



福山市立福山中・高等学校PTA
「あゆみ」



廿日市市立大野東中学校PTA
「清風」



東広島市立河内中学校PTA
「若あゆ」



尾道市立栗原中学校PTA
「会報 栗中」

広報委員会特別賞



福山市立幕山小学校PTA
「幕山小PTA便り」



尾道市立高西中学校PTA
「鶴羽ヶ丘」

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.61

会長あいさつ

広島県PTA連合会
会長

山本 浩司

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

令和2年度定例総会（書面決議）におきまして、昨年度に引き続き会長を拝命いたしました。本年度も児童・生徒の安心・安全、健全育成に尽力してまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

本年度広島県PTA連合会としての活動スローガンは「子どもと共に夢と未来を育む環境を～時代に即したPTAをめざして～」といたしました。PTA発足から70年が経過し、「子どもたちのため」に行ってきた活動が本当に今の時代に即しているのか、今一度立ち止まって考えてみては、という思いで掲げました。

多くの会員の皆様の声を聴いていると、これまでやってきたPTA活動はどうであったのか再検討が必要ではないかと思えます。事業の精選、工夫し形を変えながら効果を高める必要があるものなどPTA活動全体を見直していくことが大切と考えております。

これを機に「今までやってきたから」と続けてきた活動をアップデートしながら、本当に子どもたちのために出来る活動を進めていきましょう。

さて、今年早々に新型コロナウイルス感染症の影響で緊急事態宣言が出され、生活が一変しました。多くの学校が3月から臨時休校になり、各郡市PTA連合会や単位PTAも活動を休止せざるを得ない状況となりました。

4月には条件付きで新学期を迎えることができたが、1週間後には再度休校。緊急事態宣言の解除と共に6月から学校は再開したものの、「新生活様式」というこれまで子どもたちが体験してきた学校生活とは違う環境での再出発となりました。それはPTA活動にも影響を及ぼしています。

このような先を見通せない状況の中で広島県ではオンライン授業の環境整備に向けた補正予算の可決、そして、見送りになりましたが、9月入学導入に関して知事会が緊急提言を出し、政府も検討に乗り出すなど、今回の新型コロナウイルス感染症は今後の学校教育制度を含めた社会全体の改革のきっかけになろうとしています。

また、緊急事態宣言はネットを介した情報の活用や人間関係について考える機会になりました。昨年全小・中学校PTA母親代表研修会においてネットトラブルに関する講演会を開催いたしました。その中で「メディア・リテラシーを身につける」といった内容がありました。メディアを批判的に読み解き、主体的に使いこなす能力のことで、「送り手の意図」をしっかりと考えようというものです。広島県PTA連合会では数年前より家族でメディアについて考えてもらうことを目的とした「アウトメディアチャレンジ」に取り組んでまいりました。今回の新型コロナウイルス感染症が及ぼした影響の一つのきっかけとして、家庭内の絆を深め、電子メディアの不適切な扱い方をしないよう活用していただけることを願っております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、PTAとしては縮小された中での活動にはなりますが、今後もPTA活動を通して保護者同士が相互に協力し、学び合い、親として成長し、私たちの言葉や行動で子どもたちの明るい未来を築いていくことができるよう、皆様方のご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、各単位PTAをはじめ、それぞれの地域のPTA活動がますます盛んになりますことを心より祈念いたしまして、会長就任に挨拶とさせていただきます。

充実の補償で お子様を サポートします

- 誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…（加害事故の補償）

インターンシップ（職場体験）等に起因する法律上の賠償責任も対象になります。

- 授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気*の補償

*病気入院補償はHプラン・Wプランのみ対象です。

- 学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償
- 育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。

広島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度

中途加入募集中！

お問い合わせはフリーダイヤル
0120-018-217 まで。

小・中学生総合保障制度は団体総合生活保険のベトナムです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がございましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独個別に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。

令和2年7月作成 募文No20-TC01261

引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東京海上日動パートナーズ中国四国
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社

TEL：0120-018-217
TEL：082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

④

編集発行／広島県PTA連合会 所在地／広島市東区光町2-9-14 電話／(082)262-1600 HP／<http://hiroshimaken-pta.com/>

令和 2 年度が始まりました！



↑ウェブ会議の様子

5 月の緊急事態宣言解除を受け、徐々に活動を再開させていくこととなりましたが、三密（密閉・密集・密接）を避け、マスク着用で飛沫感染防止対策を行った上で実施していきます。

第1回 三役会



令和 2 年度 広島県 P T A 連合会 新役員

役職名	名 前	所属郡市 P	所属学校
会 長	山本 浩司	呉市	横路中
副会長	山田 洋子	大竹市	小方中
副会長	坂田 美穂	廿日市市	宮島中
副会長	佐々木健作	東広島市	風早小
副会長	花田 章浩	三原市	沼田東小
副会長	藤井 裕久	福山市	東中
会 計	高橋 友香	福山市	大門中
理 事	森山 梨恵	江田島市	大古小
理 事	辰己 寛	豊田・竹原	古名学園
理 事	西山 優	安芸郡	府中中
理 事	福永 幸江	安芸郡	小屋浦小
理 事	吉川 徹	山県郡	筒賀小
理 事	大前 由香	安芸高田市	甲田小
理 事	高橋 武也	尾道市	西藤小
理 事	鈴木真理亜	世羅郡	甲山中
理 事	眞田 恭行	府中市	第一中
理 事	岩本 義樹	神石郡	神石小
理 事	石橋 太詞	三次市	八次中
理 事	黒木 美穂	庄原市	総領小
監 事	森 公輔	安芸郡	海田南小
監 事	岩西 孝宗	三原市	南小
監 事	滝野口浩一	三次市	布野中

1 年間宜しくお願いします。

ご存知ですか？
（P T A の歌）

みなさん「P T A の歌」って知っていますか？ P T A 総会で歌っていますが、初めて聞く方はビックリされます。NHK の朝ドラ「エール」の主人公のモデルとなった古関裕而さん作曲で、1951 年(昭和 26 年) 5 月に発売されました。古関さん作曲と思って聞くと、時代や思いを感じる事が出来るかもしれませんね。

新型コロナウイルス (COVID-19) の突然の猛威に、3 月から突然始まった休校。4 月に入りやっと再開と思えば再度の休校と、自然災害とはまた違う脅威を感じました。

広島県 P T A 連合会も、このコロナ禍の中、理事会・評議員会・総会と集まることが出来ず、新年度は書面決議で運用開始となりました。せめて三役だけでも話ができないかと急速に普及したウェブ会議システムを利用し、意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ステイホームの動きが広まり、家庭で過ごす時間が増えました。おそらく皆さんの中にも、これを機に読書の時間が増えた方もいらっしゃるのではないかと思います。私自身もこのコラムを担当させていただいてから、本を読む機会が増え、最近では家での読書の時間も増えました。

このコラムでは、読書の持つ楽しさや、本を読むきっかけづくりの工夫などを書かせていただきましたが、今回は読書をより楽しむために私が実践していることを紹介したいと思います。それは読んだ本のアウトプット、いわゆる読書感想文を書くことです。読書感想文といってもそんな大袈裟なものではなく、一言二言でよいので、本を読んだ感想や、本のあらすじなどを、紙に書いてみます。私の場合は、読書感想文に限らず日々思ったことをメモする用のノートを一冊持っており、それに日付、タイトル、特に印象に残ったワード、自分なりの解釈などを殴り書きしています。文章に書いてみることで、自分の考えが整理でき、ただ読むだけよりは理解と記憶が深まります。さらに、文章という形に残すことで、時間をおいて後から振り返ってみることもできます。

また、その感想を他の人と共有することもおすすめです。読書というどうしても一人で黙々とするもの、というイメージがあり、事実それも楽しみ方の一つなのですが、読書を介して人とコミュニケーションをとる、という楽しみ方もあると考えています。本は作者の体験や思いが詰まったもので、読み手によって受け取り方は様々です。他の人と話すことで、新たな視点に気づかされるかもしれません。

特に家族で過ごす時間が増えた今こそ、子供と読んだ本の話をしてみてはいかがでしょうか。子供の年齢によっては、話す本の内容は、大人からしたらちよつと幼稚に思えるものになるかもしれませんが、子供が楽しそうに話していたら、その話をしっかりと聞いてあげてください。自分の楽しさを誰かと共有するということは、自分一人だけが楽しむことよりも数段楽しいことなのです。

これまでの生活が変わり、新しい生活様式など変わっていく事への不安や、今後どうなるかわからない将来の心配などがあると思います。読書が持つ楽しさや素晴らしさは不変のものです。外出できるようなってからも、しっかりと本を読んでいきたいものです。

（広島県教育委員会生涯学習課 小笠原 拓也）

楽しむ読書 役立つ読書
（おうちで読書をより楽しむために）

12

楽しく作って！食べて元気に！
～食育のススメ～



3 月から 5 月の学校の臨時休業中、学校給食がないため、皆さんはお子さんの昼食をどうしておられましたか。家で一緒に食べた、お弁当を作っておいた、子供が自分で作って食べた等、いつもとは違う平日の昼食の光景があったのではないのでしょうか。

こうしたコロナ禍の中、家庭で過ごす時間が増えている今だからこそお薦めしたいのは、「お子さんと一緒に料理を作って、楽しく食べる体験」です。

先日、小学校 6 年生の女兒をもつ同僚から、「いちご飴」に関する話を聞きました。「いちご飴」とは、生のフルーツをパリパリとした飴でコーティングした最近、流行りの飴で、屋台で売られているような「りんご飴」とは違うものなのだそうです。「どこで知ったのか、娘が突然『いちご飴を作りたい！』と言うから、材料をスーパーへ買いに行き、携帯で作り方を見ながら一緒に作ってみたけれど、一回目は大失敗。再びチャレンジ、またまたチャレンジ…。こんなに短い期間で砂糖を二回も買い足すことになったのは初めてだよ。」と笑いながら話してくれました。どうやら、子供が作って食べてみたくなるものは、「美味しそう」「私にもできそう」そして「映える」もののようです。

大切なことは、子供たちが学んだ知識を生かし、主体的に食に関する実践にチャレンジするようになることです。そのためには、保護者の皆さんには、子供が興味を持ったことに対して、より深い学びに繋がる声かけをして欲しいと思います。そうすることで、全てを豊かな「学びのチャンス」にすることができます。子供の「やってみたい」気持ちを大切に、「どうやったら美味しくなるかなえ。」等、会話しながら一緒に作って食べる。子供たちは、そんなやり取りを私たち大人と繰り返しながら、食事の喜び、楽しさを理解するとともに、生活をよりよく工夫しようとする術を身に付ける学びを意外と楽しんでいるのかもしれない。

さて、広島県教育委員会のホームページには、家庭でも簡単にできる給食メニューのレシピを紹介しています。ぜひご家庭でお子さんと一緒に作ってみてください。一緒に食事の準備や片付けをする中で、知恵を発揮していく。その姿、それ自体が、子供にとって、かけがえのない「食育」となります。

最後に、この原稿を書いているのは 6 月上旬です。皆さんがこの原稿を読まれている時、自分はもちろん周囲の方の命を助けるための私たちの行動が功を奏し、感染が抑えられている未来になっていることを祈っています。

広島県教育委員会 豊かな心と身体育成課

小・中学生総合保障制度は
新型コロナウイルスにも対応しています。



小・中学生総合保障制度は 10 月 10 日まで **中途加入** できます。詳しくは、「広島県 P T A 連合会」のホームページにパンフレットを掲載しておりますのでご覧ください。ご加入方法やご不明点がございましたら、パンフレットに記載の「(株)東京海上日動パートナーズ中国四国」代理店のフリーダイヤルへご連絡ください。

フリーダイヤル **0120-018-217**
ホームページのリンク先 <http://hiroshimaken-pta.com/insurance02/index.html>

募文番号:20-TC02290